

令和2年度 当初予算（案）

主な事業の説明書

生涯学習部

款	項	目	大	事業	ページ
10	5	2	10	生涯学習推進費（子育て講座）	9 - 1
10	5	2	13	学校・家庭・地域連携総合推進事業費	9 - 2
10	5	3	16	（仮称）大綱交流館等整備事業費	9 - 3
10	5	3	18	太田文化プラザ改修事業費	9 - 4
10	5	5	17	大仙市音楽祭開催経費	9 - 5
10	5	6	14	払田柵跡環境整備事業費	9 - 6
10	5	6	17	旧池田氏庭園整備事業費	9 - 7
10	5	6	27	角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業費	9 - 8
10	6	1	11	スポーツ振興事業費	9 - 9
10	6	1	21	全国500歳野球大会関係費	9 - 10
1	1	1	10	スキー場運営費	9 - 11

※部毎に款・項・目・大事业の順番とする。

事 業 説 明 書

10 款 5 項 2 目 10 事業

(施策の大綱) 生涯学習の推進

(施策) 生涯学習の推進

(基本事業) 学習支援体制の確立及び
「行動人」となるための環境整備

拡充

課所名：生涯学習部 生涯学習課

『事業名』 生涯学習推進費（子育て講座）

【R2年度】 170 千円 【R1年度】 60 千円 【増減額】 110 千円

※R2年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
				170

1. Plan（計画：事業の目的及び目標）

ひとり親家庭の増加、核家族化による三世帯同居家庭の減少や地域社会のつながりの希薄化による家庭教育に困難を抱える家庭の増加をふまえ、学校、家庭、地域のそれぞれの役割分担のもと、福祉分野を始めとする教育以外の部門との連携を図り、それぞれの分野の有する特徴や専門性を生かした連携と協力により、家庭教育の充実を図る。

2. Do（実行：これまでの実績と成果）

大仙市全域で就学時検診のときに保護者を対象に子育て講座を実施、パンフレットを配布している。

【令和元年度実績（大曲地域）】

毛利博信氏：「ちょっといい話」	10/4（金）	角間川小14名、	10/16（水）	四ツ屋小25名
平田尚之氏：「叱らない子育て」	10/9（水）	内小友小21名		
藤本竜伸氏：「ピンチもチャンス」	10/17（木）	大曲小123名		
三浦 仁 氏：「人として親として」	10/17（木）	東大曲小8名、	10/18（金）	花館小65名
家庭教育支援チーム：「子育ては親育ち」	10/4（金）	大川西根小9名、		藤木小11名

3. Check（評価：問題と課題）

地域の実情・家庭環境によって子育ての悩みは異なるので、実情に応じた相談対応や情報提供ができる人材の養成・育成が必須である。また、拡大した関係各所とどのように連絡・連携していくのが課題である。

4. Act（改善：今後の方向性とR2年度事業の概要）

子育てに関する学習機会の提供として、家庭教育支援チーム及び各公民館主催による就学時検診時に新入学児童保護者対象の「子育て講座」の実施や、子育て支援パンフレット「子育ては親育ち」や、お勧め読み聞かせ本紹介パンフレット「ほっとタイム読み聞かせ」を配布している。
令和2年度は次の3点を新たに実施し、拡充していく。

①大仙市家庭教育支援チームの拡大

現状の家庭教育支援チームは生涯学習課、教育指導課、子ども支援課の3課が主担当で行っている。拡大会議時に主任児童委員、健康増進センター、子育て支援拠点施設「まるこのひろば」の方々と情報交換をしているが、その枠をさらに拡大して、NPO法人「まることびおら」や大仙市子ども・若者総合相談センター「ふらっと」、大仙・美郷不登校適応指導教室「フレッシュ広場」等のNPO及び民間や県内大学教育機関との連携拡大を図る。

②親子参加型行事の実施

子育てに関する学習機会の提供だけでなく、PTA開催時の親子で郷土料理作り、「まることびおら」や「フレッシュ広場」等の実績を元に、ひきこもりや不登校課題の未然防止講話などの親子参加型行事等を実施する。

③訪問型家庭教育支援の実施

悩みを抱える保護者や仕事で忙しい保護者などの様々な家庭の状況に応じて、家庭教育支援チームによる相談対応や情報提供、家庭の実情に応じた家庭教育支援チーム及び連携機関の相談員の派遣等訪問型家庭教育支援を実施する。

事業説明書

10 款 5 項 2 目 13 事業

(施策の大綱) 生涯学習の推進

(施策) 学習機会の充実と社会参加活動の支援

(基本事業) 地域資源を活かした学校連携と
ボランティア活動の支援

拡充

課所名：生涯学習部 生涯学習課

『事業名』 学校・家庭・地域連携総合推進事業費

【R2年度】 4,217 千円 【R1年度】 3,436 千円 【増減額】 781 千円

※R2年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
	2,498			1,719

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

未来を担う子どもたちの成長を支えるために、地域と学校が連携・協働し社会総掛かりで教育を行うことを目的とする。地域全体で子どもたちを育み、地域を創生する活動（地域学校協働活動）を実施することで、子どもたちの社会性・自主性・創造性等の豊かな人間性を育むとともに、地域社会全体の教育力の向上を図り、地域の活性化や子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを推進する。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

各地域コーディネーターを中心に、地域の特性を生かした事業を実施している。子どもたちを学校だけでなく地域全体で育てるという認識が浸透してきている。また、地域住民の知識や経験、学習成果の活用機会の増加により、地域の教育力の向上、生きがいつくりにも結び付いてきている。

【令和元年度】

- ①学校支援活動 10本部
- ②放課後子ども教室 24教室

3. Check (評価：問題と課題)

大仙市の教育方針である「大仙教育メソッド」との融合・連携を推進し、地域や学校によって事業の充足度に差が生じないように、地域内及び学区を超えた連携を促進しながら、新たなコーディネーターの人材育成を図る必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性とR2年度事業の概要)

当事業は地域全体で子どもを育てる体制づくりを構築し、地域のネットワークを形成することで災害時の連携や防犯にも繋がる。

令和2年度は統括コーディネーターを配置し、各地域に限定されていた活動を全市に拡大し、ネットワーク化を推進する。さらに、地域の特性や豊富な人材を広域的に生かし課題等に対応した事業を展開していく。

①協働活動（学校支援活動）（2,756千円）

大曲小、神岡小、西仙北小、中仙小、協和小、南外小、高梨小、太田南小、大曲西中、大曲南中の10地域学校協働本部で実施する。

令和2年度より統括コーディネーターを配置し、各本部の活動と地域コーディネーター同士の連携・協働を促進する。

【事業内容】

- 学習支援(スキー学習・農業体験学習等) 部活動支援(地域団体・企業等からの指導)
- 学校行事運営支援(学校祭等の支援) 登下校見守り(子ども見守り隊等) 等

②放課後子ども教室（1,461千円）

放課後や週末に、子どもたちの安全・安心な活動場所を確保し、学習や様々な体験の機会を提供する。

【事業内容】

- わくわく体験教室(紙芝居巡回公演、パイプオルガンワークショップ、東大曲小学びい教室、西仙北学びい教室、子どもカメラ教室、民謡教室、郷土芸能伝承、表装体験教室)

- わくわくスペース(子ども囲碁大会、学校囲碁教室、学びい囲碁サロン)
- サタデーキッズパーク(おらだの体験学校実行委員会へ委託)

事 業 説 明 書

10 款 5 項 3 目 16 事業

(施策の大綱) 行財政運営の効率化

(施策) 公共施設の効率的な運営

(基本事業) 施設の長寿命化の推進

継続

課所名：生涯学習部 生涯学習課

『事業名』 (仮称) 大綱交流館整備事業費

【R2年度】 438,898 千円 【R1年度】 527,607 千円 【増減額】 △ 88,709 千円

※R2年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
167,800		226,500		44,598

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

生涯学習活動や地域活性化活動の拠点施設として市内各地域に公民館が設置されている。安全・安心に利用していただくためにも築年数の古い公民館については公共施設等総合管理計画に基づき改修・改築を検討するとともに、緊急性の高い案件については修繕等により即時対応し長寿命化を図りながら施設の維持管理に努めることを目的とする。

- ・目標：(仮称) 大綱交流館令和2年度事業進捗率 100%

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

- ・西仙北中央公民館は昭和53年に建築され、築40年以上が経過している建物である。
- ・平成19年度に事務所棟部分、平成28年度に講堂部分の耐震診断を実施し、その結果、耐震補強対策が必要とされる。
- ・西仙北地域内で検討を重ねた結果、築年数も古く、補強したとしても近い将来建替えが必要となった場合を想定し、現在地に建替えをすることが妥当であると判断され事業が進められてきた。

3. Check (評価：問題と課題)

- ・地域の生涯学習施設の拠点として利用されており、他地域の施設と比較しても利用実績は多い。
- ・経年劣化等による施設や設備の維持管理費が年々嵩んできていた。
- ・建替えに向けて将来を見据えた施設利用者の把握と、「刈和野の大綱引き」を広く周知すべく刈和野駅を起点とした大綱に関する周辺整備を進めるとともに、施設利用者や地域住民から出された意見・要望を汲み入れた施設となるよう協議を重ねる必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性とR2年度事業の概要)

公民館は地域の生涯学習活動の拠点と位置づけられているため、市民が利用しやすく地域活性化に寄与できる施設の有効活用を図らなければならない。併設されている図書館のほか、「刈和野の大綱引き」に関する大綱の作業所についても施設機能を集約し、避難所としての防災機能も備えた新たな西仙北地域の拠点施設として整備していく。また、刈和野駅前の大綱展示場の整備も併せて行う。

【計画概要】 ・規模構造 『公民館棟』 鉄骨造 2階建て、延べ床面積 A = 1,927.74㎡
 『作業棟』 木造 平屋建て、延べ床面積 A = 472.63㎡
 (単位：千円)

予 算 項 目		令和元年度 (実績)	令和2年度	合計 (契約額)
委託料	工事監理	6,776	5,324	12,100
	設計管理	1,202	944	2,146
	計	7,978	6,268	14,246
工事請負費	機械設備	27,559	51,862	79,421
	建築	453,901	259,779	713,680
	電気設備	31,482	90,069	121,551
	計	512,942	401,710	914,652
合 計		520,920	407,978	928,898

【新規】

(手数料)	(仮称) 大綱交流館工事完了手数料ほか	305千円
(委託料)	大綱展示場新築工事実施設計業務委託ほか	9,011千円
(工事請負費)	(仮称) 大綱交流館IRUケーブル移設工事ほか	2,568千円
	大綱展示場解体工事	5,940千円
(備品購入費)	(仮称) 大綱交流館整備事業備品購入	9,941千円
(補償補填)	(仮称) 大綱交流館電柱等移転工事ほか	3,155千円

事 業 説 明 書

10 款 5 項 3 目 18 事業

(施策の大綱) 行財政運営の効率化

(施策) 公共施設の効率的な運営

(基本事業) 施設の長寿命化の推進

継続

課所名：生涯学習部 生涯学習課

『事業名』 **太田文化プラザ改修事業費**

【R2年度】 **69,448 千円** 【R1年度】 **30,423 千円** 【増減額】 **39,025 千円**

※R2年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		69,206		242

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

生涯学習活動や地域活性化活動の拠点施設として市内各地域に公民館が設置されている。安全・安心に利用していただくためにも築年数の古い公民館については公共施設等総合管理計画に基づき改修・改築を検討するとともに、緊急性の高い案件については修繕等により即時対応し、長寿命化を図りながら施設の維持管理に努めることを目的とする。

- ・ 目標：事業期間3年を目途に改修

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

【平成28年度】

- ・ 太田生活改善センター（太田公民館）の一部を解体し、公民館事務室を太田庁舎内に移転させることにより、事務機能の集約となり地域住民に対するサービス向上が図られた。

【平成29年度】

- ・ 太田庁舎に隣接する太田文化プラザ遊休スペースを、減築した公民館機能の補完と地域防災拠点として利用するため改修工事の実施設計（建築分）を実施した。

【平成30年度】

- ・ 太田文化プラザの老朽化が著しい空調設備に関する改修工事の実施設計を実施した。

【令和元年度】

- ・ 太田文化プラザの屋上防水改修工事を実施した。

3. Check (評価：問題と課題)

- ・ 近年は雨漏りや各種設備配管の漏水など発生しており、経年劣化による老朽化が著しい。
- ・ 平成28年度の太田生活改善センター（太田公民館）の一部解体によって失われた生涯学習スペースを補いつつ、地域の防災スペースとして併用できるような大規模改修が望まれている。
- ・ 外壁にアスベストが使用されていて、一部は剥離している状況であり飛散防止のため除去が必要である。

4. Act (改善：今後の方向性とR2年度事業の概要)

当施設に生涯学習機能、集会施設機能、そして防災機能を集約することによって、より地域住民が利用しやすく安心・安全な拠点施設を目指す。

令和2年度は、アスベストが含まれ剥離・膨張・亀裂が著しい外壁の改修を実施する。空調設備、内部改修工事については、今後、協議を重ね改修計画を立てて進めていく。

【施設概要】

- ・ 太田文化プラザ（正式名称：太田農村環境改善センター、太田支所となり）
昭和54年度建築（築40年以上経過） 鉄筋コンクリート造 2階建て 延べ床面積 A=1,814.69㎡

【令和2年度 計画】

- ・ 外壁改修工事（アスベスト改修込）

工事請負費	65,905千円	
工事監理業務委託	2,988千円	
設計監理業務委託	555千円	計 69,448千円

【令和3年度以降の計画】

- ・ 空調設備改修工事

設計額	73,896千円
-----	----------
- ・ 内部改修工事（鈴木空如展示スペース改修含む）

設計額	75,000千円
-----	----------

 - ・ 改修計画検討内容
(風除室設置、外部スロープ、1F・2Fトイレ改修、生活実習室 他)

事 業 説 明 書

10 款 5 項 5 目 17 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 芸術・文化の振興

(基本事業) 芸術文化鑑賞・体験機会の創出

継続

課所名：生涯学習部 総合市民会館

『事業名』 **大仙市音楽祭開催経費**

【R2年度】 **3,147 千円** 【R1年度】 **4,846 千円** 【増減額】 **△ 1,699 千円**

※R2年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			1,000	2,147

※入場料収入

1. **Plan** (計画：事業の目的及び目標)

- ・目的：「音楽を通して、人があふれるまちを創り出す。」
「音楽を通じたふれ合いの場を創り出す。」 「子ども達の豊かな感性を育む。」
- ・目標：「音楽のまち大仙」として長年にわたり育んできた伝統と財産を、市民により身近なものとするため、「ひとづくり、きずなづくり、まちづくり」をコンセプトとした市民参加型音楽祭を開催して、音楽に触れ合うことのできる機会を提供する。

2. **Do** (実行：これまでの実績と成果)

大仙市音楽祭2019

月日	時間	会場	公演名	入場料	委託料
11/9(土)	10:30~12:20	大ホール	企画公演①／小・中学生による演奏会	無料	
	14:00~16:00	小ホール	企画公演②／ソフエスタ入賞者、公募市民による音楽会	無料	
	17:00~19:00	大ホール	横濱音泉倶楽部「市民のためのジャズコンサート」	2,000円	※
11/10(日)	10:00~10:45	ホリエ	楽器体験コーナー	無料	
	11:00~12:00	大ホール	横濱音泉倶楽部「0歳からのジャズコンサート」	1,000円	※
	13:30~15:00	小ホール	企画公演③大仙市音楽祭オーケストラ 演奏会	無料	900千円
	14:00~17:00	大曲中学校	横濱音泉倶楽部クリニック		※
12/8(日)	13:30~15:30	大ホール	大いなる秋田大演奏会	無料	

※横濱音泉倶楽部委託料2,100千円

3. **Check** (評価：問題と課題)

H29年度(仙台フィル)・H30年度(山形交響楽団)とオーケストラ公演を2年連続開催し、R1年度は、様々なジャンルの音楽を提供する目的でジャズをメインに実行委員会が企画した。R1年度は、集客等の課題もあったが、ジャズ音楽にふれ、ファン層が広まりつつある。今後、大仙市の音楽文化の継承と推進を図るため、実行委員会で検証し、内容を精査しながら実施していく必要がある。

4. **Act** (改善：今後の方向性とR2年度事業の概要)

「音楽のまち大仙」として多くの市民が関わり、多くの市民が楽しめる音楽祭にするため、実行委員会が主体となって検討したプログラムを実施していく必要がある。なお、令和2年度は、引き続き横濱音泉倶楽部を核とした「大仙市音楽祭2020」を予定している。

大仙市音楽祭2020

月日	時間	会場	公演名	入場料	委託料
11/14(土)	10:30~12:20	大ホール	企画公演①／小・中・高校生による演奏会	無料	
	14:00~16:00	小ホール	企画公演②／ソフエスタ入賞者、公募市民による音楽会	無料	
	17:00~19:00	大ホール	横濱音泉倶楽部「市民のためのジャズコンサート」	1,000円	※
11/15(日)	10:00~10:45	ホリエ	楽器体験コーナー	無料	
	11:00~12:00	大ホール	横濱音泉倶楽部「0歳からのジャズコンサート」	1,000円	※
	14:00~17:00	交流センター 大ホール	横濱音泉倶楽部クリニック		※
12/6(日)	13:30~15:30	大ホール	大いなる秋田大演奏会	無料	

※横濱音泉倶楽部委託料2,200千円

事業説明書

10 款 5 項 6 目 14 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業) 文化財を活用した地域づくり

継続

課所名：生涯学習部 文化財保護課

『事業名』 払田柵跡環境整備事業費

【R2年度】 6,634 千円 【R1年度】 5,563 千円 【増減額】 1,071 千円

※R2年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
3,125				3,509

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

秋田県初の国指定史跡である遺跡の保存を図るとともに、日本や地域の歴史を正しく理解できるように遺跡の性格や内容をわかりやすく復元整備し、史跡公園として見学者の利用に供することを目的とする。また、総合学習や生涯学習、市民の憩いの場の提供のほか、夏祭りやイベントなどの地域振興にも貢献できる多目的な活用場として環境整備する。

第3次環境整備事業基本計画（平成15年度策定）に基づき、年次計画による復元整備と遺跡保護のための各種事業を実施する。

- ・ 設定期間：平成7年～令和5年度（予定）
- ・ 目標数値：令和2年度末事業進捗率 約34.47%（全体事業費1,000,000千円のうち344,710千円）
（令和元年度末までの事業進捗率 約33.85%）

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

史跡の環境整備により、県内外から年間約3万～3万5千人（案内所見学者約1万人、史跡公園利用者約2万～2万5千人）が訪れ、総合学習や生涯学習、市民の憩いの場、催事開催、グラウンドゴルフなど多目的な活用場として利用されている。

3. Check (評価：問題と課題)

- ・ 事業が長期に渡っており、平成15年度に策定した環境整備計画の完成前に復元外柵南門など過去に復元整備した建造物が老朽化し、見学者の安全を確保するため修理を優先して行う必要がある。
- ・ また、前述の環境整備計画の終期も近づいていることから、事業計画の見直しや復元建造物等の再整備を含めて新しい計画を策定する必要がある。

4. Act (改善：今後の方向性とR2年度事業の概要)

【令和2年度事業の概要】

- ・ 史跡内復元建造物等再整備計画策定業務
使用木材の老朽化等が顕著になっている外柵南門（平成5年度復元整備）をはじめ、史跡の見学導線となっている主要な復元建造物の再整備計画を策定する。再整備計画の内容については、払田柵跡環境整備審議会に諮って決定する。
- ・ 計画策定業務費用
計画策定業務委託 4,807,000円
計画策定報告書印刷製本費 407,000円

【今後の方向性】

前述のとおり、平成15年度に策定した第3次環境整備計画の完成前に復元外柵南門など過去に復元整備した建造物が老朽化して倒壊等の恐れがある。これらの施設は史跡見学における主要な建造物等であり、見学者の安全を確保するため修理を優先して行う必要がある。

- ・ 再整備が必要な建造物等
外柵南門（柱材腐食）：昭和62年度復元整備
石塁（風化、破碎）：昭和63年度～平成元年度復元整備
南大路東建物（柱材などの腐食）：平成6年度復元整備
政庁東方建物群（屋根材の腐食）：平成8年度～平成9年度復元整備
外柵西門（柱材腐食）：平成11年度復元整備
- ・ 払田柵跡外柵北東部の整備
築地塀、櫓、外柵角材列レプリカ工事等（現環境整備計画に基づく）

事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 17 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業) 文化財を活用した地域づくり

継続

課所名：生涯学習部 文化財保護課

『事業名』 **旧池田氏庭園整備事業費**

【R2年度】 **16,362** 千円 【R1年度】 **2,395** 千円 【増減額】 **13,967** 千円

※R2年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
8,140		4,900	473	2,849

※公共施設適正管理基金繰入金

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

名勝庭園の築庭当時の景観を復原整備することによって、見学者の庭園への理解を助け、生涯学習活動や地域づくりの推進に資するとともに、他の周辺観光資源とリンクさせながら来園者数の確保を図り、文化財を活用した観光振興を目指す。

- ・目標：旧池田氏庭園 年間来園者数15,000人

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

庭園の保存整備と活用整備を進めることで県内外からの誘客に対応することができ、文化財の保護並びに観光資源として活用することが可能となる。

平成20年度以降の実績は下記の一覧表のとおりである。

(参考) 平成20年以降の来園者数と事業費一覧 (単位：人、千円)

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	延べ合計
来園者数	8,692	10,960	10,635	23,983	21,931	23,634	22,783	16,732	11,947	12,781	14,075	10,915	189,068
事業費	62,000	59,000	58,500	65,000	48,750	108,903	82,455	21,589	15,466	14,727	26,135	2,395	564,920

※H16～R1の事業費：736,486千円

3. Check (評価：問題と課題)

- ・全体計画である保存整備管理計画の実施期間が30年と長く、既に整備が終了した施設の維持管理費、修繕費(洋館等)、植栽の更新が必要となっている。
- ・旧宅(穆如亭)が年々老朽化している。
- ・年々来園者が減少している。

4. Act (改善：今後の方向性とR2年度事業の概要)

【令和2年度の事業概要】

- ・庭園整備
 - 庭園保存修復事業修復基本計画策定業務委託
 - 分家枯死植栽業務委託
- ・重要文化財等防災施設整備(旧池田家住宅洋館)
 - 避雷設備設置工事
 - 避雷設備設置工事实設計業務委託、工事監理業務委託
 - 自動火災報知設備改修工事
- ・その他経費(審議会開催等)

【今後の方向性】

庭園(園地)の修復基本計画を策定し、年次計画で復原整備を進め、市民の憩いの場、催事会場としての文化的・多目的な活用による交流人口の拡大を目指すと共に、市を代表する文化財としての保存と活用の両面の充実を図る。

また、今後はSNSやホームページ・ツイッター等による情報発信や、旅行企画商品における関係企業との連携等の普及啓発の取り組みを強化することにより、来園者数の増加を図る。

事 業 説 明 書

10 款 5 項 6 目 27 事業

(施策の大綱) 芸術・文化の振興

(施策) 文化財の保存、整備、活用の推進

(基本事業) 文化財を活用した地域づくり

継続

課所名：生涯学習部 文化財保護課

『事業名』 角間川・川のまち歴史交流の杜整備事業

【R2年度】 10,288 千円 【R1年度】 16,829 千円 【増減額】 △ 6,541 千円

※R2年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
		2,000	1,500	6,788

※教育文化基金繰入金

1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)

東北地方を代表する雄物川舟運の歴史を伝える「角間川の旧家群」を活用し、地域の歴史と交流をキーワードとした地域活性化拠点エリアを整備する。

国登録文化財の本郷家住宅をはじめとした秀逸な近代建造物群を周知し、エリア内へ案内所等の便益施設を計画的に整備しながら、地域文化向上と広域的な文化財活用型観光交流を推進する。

- ・目標：川のまち歴史交流の杜 年間来館者数1万人（旧池田氏庭園の5割、弘田柵総合案内所と同等）

2. D o (実行：これまでの実績と成果)

平成29年度に三家の敷地・建造物の公有化を完了した。平成30年度には旧荒川家住宅を大規模改修し、案内所・トイレ機能を完備した便益施設が完成した。令和元年度は、門・塀の修繕や外構整備を実施し、安全対策を行った。また、旧本郷家住宅を4月から11月まで通年公開し、3,759人が来館した。

年度	H28～H30	R1
実績	三家：土地・建物公有化、庭園整備 本郷家：生活痕改修・公開対応改修 荒川家：大規模改修、減築、トイレ整備	建造物：門・塀等修繕 本郷家：屋根雨漏り修繕 外 構：コンクリート舗装、園路整備
成果	H30本郷家来館者 2,623人 (56日間)	R1本郷家来館者 3,759人 (170日間)

3. C h e c k (評価：問題と課題)

- ・建造物群の老朽化が進んでおり、安全確保の観点から早急に改修する必要がある。
- ・内蔵の収蔵資料を整理するマンパワーが不足しており、すべてを公開するまでには時間を要する。

4. A c t (改善：今後の方向性とR2年度事業の概要)

【今後の方向性】

- ・事業期間：【前期計画】平成28～令和2年度・・・保存整備・公開準備（主にハード整備）
【後期 〃】令和 3～令和7年度・・・公開と組織整備（主にソフト事業）
- ・総事業費：245,000千円

【令和2年度事業概要】

(単位：千円)

項目	実施内容	事業費
設計監理	本郷家消防設備設置工事実施設計	812
建造物改修	北島家屋根改修、門・塀等修繕、本郷家屋根塗装、北島・荒川照明設備	3,551
外構・庭園整備	外構整備、庭園整備	346
展示整備・調査	説明板・展示ケース製作、市名勝指定に向けた調査	695
管理費	維持管理、特別公開管理等	4,884
	合計	10,288

【令和3年度以降事業概要】

(単位：千円)

年度	項目	R3年度	R4～R7年度
主な 整備 事業 内容	設計監理		公開体制の組織整備 活用計画策定 指定管理の導入準備 老朽箇所修繕
	建造物	屋根改修、消防設備 9,486	
	外 構	庭園整備 200	
	展示・調査	説明板、調査 500	
	合計	10,186	17,836

事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 11 事業

(施策の大綱) スポーツ、レクリエーションの推進

(施策) スポーツ機会の拡大

(基本事業) 生涯スポーツの振興

継続	課所名：生涯学習部 スポーツ振興課				
『事業名』	スポーツ振興事業費				
【R2年度】	16,170 千円	【R1年度】	7,207 千円	【増減額】	8,963 千円
※R2年度事業費の財源内訳					
国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源	
				16,170	
<p>1. P l a n (計画：事業の目的及び目標)</p> <p>スポーツ推進計画の基本理念に基づき、市民が生涯を通じて、市民一人ひとりのライフスタイルに応じ、気軽にスポーツを楽しむことができる生涯スポーツ社会の実現を図る。</p> <p>スポーツ推進委員・総合型地域スポーツクラブ・体協・スポ少等のスポーツ団体と連携を図りながら、気軽にスポーツ教室や大会に参加することができ、市民一人ひとりがライフスタイルに応じたスポーツを楽しめるような地域コミュニティの場を提供する。</p>					
<p>2. D o (実行：これまでの実績と成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジデー2019in大仙 平成25年度より、毎年5月の最終水曜日に世界中で開催されている住民総参加型のスポーツイベント「チャレンジデー」を実施している。R元年度で7回目の実施となった。 【R元年度実績】 対戦自治体：兵庫県豊岡市(結果 大仙市参加率89.3% 豊岡市参加率88.5%) ・市制駅伝競走大会 令和元年度大会は15回目の開催となり44チームが参加した。近年は新規参加が少なく、出場チームが固定化傾向にある。 ・秋田25市町村対抗駅伝大会 平成26年度から実施された秋田25市町村対抗駅伝大会は、令和元年度は鹿角市で開催された。 【R元年度実績】 市の部6位入賞 ・その他のスポーツ事業 体育協会・スポーツ少年団事務事業は市内6地域において、各地域の総合型スポーツクラブ等へ業務委託を実施済み。今後、神岡・南外地域における業務委託を検討する。 多様化するスポーツニーズに対応し、市民がそれぞれのライフスタイルにあったイベントを提供し、スポーツを始めるきっかけづくりや、継続的にスポーツを行うことへの動機づけとなるような事業を展開。また、地域のスポーツ団体と連携を図り、地域スポーツイベントについては、市民主導型の開催を推進する。 					
<p>3. C h e c k (評価：問題と課題)</p> <p>地域のスポーツ団体(スポーツクラブ等)と連携を図り、地域イベントについては地域スポーツ団体主導での開催を推進することにより、市民主導型のスポーツ環境の構築に努めている。</p> <p>また、市民の多様化するスポーツニーズに応えると共に、事業の統廃合や見直しを行い、効率的な運営を図る。</p>					
<p>4. A c t (改善：今後の方向性とR2年度事業の概要)</p> <p>【新規事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大仙市体育協会、スポーツ少年団本部業務委託(2,712千円) ・ミズノ(株)、(株)楽天野球団スポーツ協定 事業委託(4事業1,258千円) ・東京2020オリンピック聖火リレー [期日：令和2年6月9日(火) 秋田トヨタ大曲店～ヒカリオ] <p>【既存事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャレンジデー2020in大仙 期日：令和2年5月27日(水) 大仙市全域で実施 ※令和2年度で8回目の実施。 ・令和2年25市町村対抗駅伝大会 期日：令和2年10月11日(日) 開会式10月10日(土) 場所：仙北市 ・その他のスポーツ事業については、市民の多様化するスポーツニーズを分析し、それぞれのライフスタイルに合ったイベントを企画する。地域限定的なスポーツイベントについては、地域スポーツ団体(総合型地域スポーツクラブ等)主導で実施するようスポーツ環境の再構築を図っていく。 					

事 業 説 明 書

10 款 6 項 1 目 21 事業

〔施策の大綱〕 スポーツの推進

〔施策〕 スポーツ機会の拡大と環境の整備

〔基本事業〕 スポーツによる地域の活性化

継続

課所名：生涯学習部 スポーツ振興課

『事業名』 **全国500歳野球大会関係費**

【R2年度】 **5,840 千円** 【R1年度】 **5,840 千円** 【増減額】 **0 千円**

※R2年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			5,840	

※公共スポーツ施設等活性化助成金他

1. Plan（計画：事業の目的及び目標）

「野球に燃える親父たちの甲子園」のキャッチフレーズのもと、高齢者が野球を楽しみながら健康づくりを行うことをモットーに、500歳野球の全国大会を継続して展開する。生涯スポーツとしての野球を楽しみながら、長寿社会の形成に資することを目的とし、併せて地域知名度の向上と観光宣伝及び特産品PRを通じて地域の活性化を図る。

目標：県外参加チーム数：25チーム（前年比+3）、県外チーム登録者数：540人（前年比+65）
大会期間中延べ宿泊者数：600人（前年比+82人）

2. Do（実行：これまでの実績と成果）

【令和元年度 第3回全国500歳野球大会】

期 日	令和元年7月13日（土）～15日（月） 開会式：7月12日（金）
会 場	大仙市総合公園野球場（主会場）、神岡野球場、八乙女球場、協和野球場、太田球場、仙北球場（全6会場）
出場チーム	32チーム（県外からは交流都市を含む、1道10県22チーム、475人が参加）
試合数	本戦トーナメント31試合。1回戦敗退県外チームと市内チームによる交流戦6試合実施
観光・物産おもてなし	歓迎レセプションで花火鑑賞、特産品お土産、特産品弁当の注文販売、出場チームの宿泊先については市内温泉施設を優先的に配宿

3. Check（評価：問題と課題）

- ・より多くの都道府県からの参加を目標としているが、50歳代以上の野球大会は全国的に少なく、各地域でそれぞれの組織が独自の大会を実施しているのが現状であるため、情報提供を末端組織まで幅広く発信していくことが重要である。
- ・大会の開催は、本市の知名度を上げる良い機会となるため、花火鑑賞や特産品販売等、関係機関と連携してホスピタリティ面も充実させ、出場チームのリピート率の維持と応援で訪れた選手の関係者も楽しめる大会として確立させたい。

4. Act（改善：今後の方向性とR2年度事業の概要）

大会終了後に出場チームに対して毎回アンケート調査を実施し、大会運営面やおもてなしの部分についての感想や要望について取りまとめ、次年度の大会に反映させている。全国大会は中高齢者が生涯スポーツとしての野球を楽しみながら、開催地周辺の観光や物産を融合させる「大仙市版スポーツツーリズム」として取り組んでいく。

【令和2年度 第4回全国500歳野球大会】

期 日	令和2年7月18日（土）～20日（月） 開会式：7月17日（金）
会 場	大仙市総合公園野球場（主会場）、神岡野球場、八乙女球場、協和野球場、太田球場、仙北球場（全6会場）
出場チーム	32チーム（県外から25チーム、国内八地方からの出場チームを目標とする）
試合数	本戦トーナメント31試合。1回戦敗退県外チームと市内チームによる交流戦

事 業 説 明 書

1 款 1 項 1 目 10 事業

(施策の大綱) スポーツの推進

(施策) スポーツ機会の拡大と環境の整備

(基本事業) スポーツ施設の整備充実

継続

課所名：生涯学習部 スポーツ振興課

『事業名』 **スキー場運営費**

【R2年度】 **39,315** 千円 【R1年度】 **36,657** 千円 【増減額】 **2,658** 千円

※R2年度事業費の財源内訳

国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
			2,051	37,264

※公共スポーツ施設等活性化助成金他

1. Plan (計画：事業の目的及び目標)

豊かな冬の特典を活かし、市民及び誰もが個々の年齢や健康・技術に合わせて、気軽に主体的・継続的に楽しめる生涯スポーツの場を提供する。地域が持つ豊かな資源及び自然環境を最大限に活用し、地域経済の活性化、冬季スポーツの充実、市民の健康増進などに資する。

2. Do (実行：これまでの実績と成果)

・スキー場別利用客数、() 内はリフト輸送人員の県内順位 (単位：人)

年度	大曲	協和	大台	合計	前年比(%)
H30	9,807(12)	25,437(4)	21,705(5)	56,949	97.4
H29	9,721(12)	27,745(4)	20,990(5)	58,456	126.7
H28	7,126(13)	20,921(5)	18,091(4)	46,138	94.4
H27	8,509(13)	21,781(5)	18,560(4)	48,850	67.9

・スキー場別修繕費、工事費実績 (単位：件、千円)

年度	大曲		協和		大台		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
H30	3	5,747	7	36,829	4	10,541	14	53,117
H29	10	25,888	6	7,429	5	10,871	21	44,188
H28	7	4,412	4	7,880	1	6,210	12	18,502
H27	4	3,817	1	850	4	6,695	9	11,362

3. Check (評価：問題と課題)

現在は各スキー場ともに指定管理者が管理・運営にあたっているが、今シーズンのような降雪不足による影響やそれに伴うスキー・スノーボード人口の減少が懸念されている。
また、リフト等の施設の老朽化が進んでいるため運営に当たっては常に安全安心を最優先に考え、事故や災害等の緊急時には迅速かつ適切な対応ができる体制を整え、健全なスキー場運営を目指す。

4. Act (改善：今後の方向性とR2年度事業の概要)

各スキー場は、レンタル用品や売店、レストラン等の内容も充実しており、リフト券の販売に関しても利用者ニーズに対応して、多用な券種、宿泊パック等を設定している。
また、様々な企画で集客を図るなど、今後も指定管理者による運営は、民間のノウハウを活かした効率の良い事業効果が期待できる。

【令和2年度 各スキー場事業費】 (単位：千円)

スキー場名	委託料	工事費	備品購入費	その他	合計
大曲スキー場	9,347	1,964	0	489	11,800
協和スキー場	0	0	2,989	12,715	15,704
大台スキー場	10,416	990	0	405	11,811
計	19,763	2,954	2,989	894	39,315

※主な内容

- ・大曲：リフト握索装置交換工事(第3期) 1,964千円
- ・協和：リフト券売機更新 2,989千円
- ・大台：ロマンスリフト支柱防水端子箱更新工事(第2期) 990千円